

NADPZ

OCTOBER NEWSLETTER



プロジェクトサイトにおける村の鶏飼育

昨年、ザンビア自然農法開発計画（NADPZ）が村の鶏プロジェクトの開始を検討していることをお知らせしましたが、このプロジェクトは成長を続けており、村の鶏飼育の利点について自然農法農家に教えています。

村の鶏を飼育することにはいくつかの利点があります。小規模農家でもほとんどまたはまったくコストをかけずに飼育できるのです。他のどのような収入源となる活動に比べても、鶏の飼育は地元では入手困難な 高価な鶏舎や投資の必要もなく、確実な収入を期待できるのです。

農家は最近、鶏は花や野菜園において天然の「殺虫剤」としても使用できることを知りました。また、卵や肉を手頃な価格で生産する方法でもあり、農村家庭の生活を改善するのに役立ちます。

最近プロジェクトサイトの近くに孵卵場がオープンし、プロジェクトの成長と、参加農家が増えてゆくことを楽しみにしています。

新規参入地方への自然農法種子の提供

NADPZ の 2022 年の目標の 1 つは、自然農法のメッセージとザンビアの他の地域への教育を拡大することでした。今年の第 2 四半期と第 3 四半期に、自然農法のトレーニング チームはザンビアの東部と西部の州を訪れ、100 人以上のデモンストレーション ファーマーに向けて自然農法研修を実施しました。

訓練を受けた農家は、対象となる地区周辺の土地地区画にデモンストレーション圃場を設立し、農民クラブ、協同組合のメンバー、およびより近隣農民たちを圃場に招待して、自然農法について教えます。

「百聞は一見に如かず」なので、デモンストレーション農家は重要です。農民に単に説明することと、それが機能することを見せるのとは別のことです。

今日、プロジェクト マネージャーは、今年の植え付けシーズンに備えて、200 kg の自然農法トウモロコシ種子を新しい ムンブア地域 と シンダ地域のデモンストレーション農家に送りました。

彼らの進展を楽しみにしています！

マルチの重要性

ザンビアの気候においては、マルチは自然農法を実施する上においてとても有効です。年間を通じて継続的にマルチを行うことを農家に奨励しています。

NAPDZ は農家に、作物を乾燥した葉や草で覆う (マルチング) ことを教えています。これにより、土壌に水分を保持できます。早期の植え付け方法と相まって、これは土壌の水分を維持するのに役立ち、干ばつが発生した場合でも植物は成長し続け、影響を最小限にすることができます。

農民たちは、来たるべき雨季に備えて野菜園のマルチを行っています。来年2月、このガーデンでは野菜の植え付けの準備が整います。



学習が止まることはありません



いくつかの問題が農村地域を悩ませており、その一部には次のようなものがあります。

- 投資不足のため、道路網が貧弱で、都市という潜在的な市場へのアクセスが困難。
- 灌漑用水へのアクセスの欠如。
- 食料貯蔵施設などのインフラ設備の不足。
- トレーニングおよび有益な教育資料の不足

NADPZ は、地元のトレーニングセンターを十分に活用し、女性たちが情報、教育、トレーニングにアクセスできるようにすることで、情報のギャップを埋め、彼女等の世帯の地位と収入を向上させることを計画しています。

NADPZ は、農村コミュニティに役立つトレーニング プログラムを実施しているいくつかの NGO や政府機関と提携しています。今月、シビックフォーラムフォー ハウジング アンド ハビタット（住宅住居のための市民広場）は、ムババラ研修センターにてカベタ女性クラブに向けて1日ワークショップを開催しました。



トレーニングはコミュニティ主導の住宅に焦点を当てており、住宅協同組合、住宅貯蓄および融資グループの促進を通じて、特に社会の疎外された貧困層や不利な立場に置かれた人々のために、まともで手頃な価格の適切な住宅へのアクセスの増加に焦点を当てています。これらには、高齢者、孤児、女性、少女、障害のある人、HIV や AIDS とともに生きる人が含まれます。これらのグループの人たちは、さまざまなコミュニティで住宅の提供を受けるための方法について訓練を受けています。